



令和3年12月23日 鈴鹿市立稻生幼稚園



No.11 あかるく たのしい いのうようちえん



12月9日（木）は、園児だけで焼き芋会をしました。子どもたちは、前日にサツマイモを洗って下準備をしました。

9日は、朝からサツマイモを新聞紙でくるみ、水で濡らしてアルミホイルで巻きました。

アルミホイルをまいたサツマイモをバーベキューコンロの炭火でじっくりと時間をかけて焼きました。



「なんかいい匂いがしてきた」「やけたかな？」と、子どもたちは少し離れたところから焼き芋が出来上がるのを待ちました。



お待ちかねの焼き芋が出来上がり、みんなでテラスに座っていただきました。「甘くておいしい」「もっと食べたい」と声が聞こえるほど、おいしい焼き芋ができました。



みんなで掘ったサツマイモがおいしい焼き芋になり、大満足の焼き芋会でした。



14日（火）には、キッズPE体育・スポーツ教室のさなえコーチとゆきコーチに来ていただき、いろいろな運動遊びを楽しみました。



コロナの感染者数も比較的少なく、屋外での活動だったので、リズムに合わせてジャンプしたり、手をつなぎながらいろいろな動きをしたり、背中合わせになって立ち上がったり、ボール集めをしたりして、あっという間の1時間でした。※幼児は屋外での活動中は、マスクを外すことがあります。

12月17日(金)には、稲生幼稚園にもサンタクロースが来てくれました。園児一人一人にプレゼントをもらいました。忙しいサンタさんは、次の子どもたちのところに行くためすぐに帰っていききましたが、少しだけ質問をしたり、一緒に写真を撮ったりして、楽しいひと時となりました。サンタクロースさんありがとうございました。



さて、9月に種をまいたニンジンを毎日子ども達が水やりをして世話をしてきました。世話をしている間に少しずつ株が減っていき、とうとう園児数分だけが残りました。そこで、収穫時期を迎えたので、21日(火)から23日(木)にかけてお迎えの時間に親子で1本ずつ収穫してもらうことにしました。葉っぱが大きくても抜いてみるとニンジンは小さかったり、抜いたら二股になっていたりと個性豊かなニンジン収穫を親子で体験できて、これもよい思い出となりました。

臨時休園から始まった2学期でしたが、どの園児も大きく体調を崩すことなく過ごせたおかげで、いろいろな行事を行うことができました。保護者の皆様が、少しでも体調に変化があれば登園を控えて様子を見ていただいたおかげだと感謝しています。まだまだ、コロナ禍は続いていますので、基本的な感染防止策(手洗い・消毒・人込みを避ける)を続けながら、3学期も元気に登園できることを願っています。

